

No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業前の 実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果(⑤)の評価理由(具体的に) ※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由(原因)等についても記載願います	⑦ 事業費総額(①)の内訳 ※「〇〇委託料:〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		実績値を踏 今後の方針	
			過年度	実績額	指標	指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果				事業の評価	外部有識者からの意見		
			後年度	予算額														
9	ICT教育環境整備事業	町内の小中学校でICT(情報通信技術)を活用し、確かな学力を育成する教育を推進します。	H27年度	14,629,000	指標①	国の整備指針に基づくCT機器必要数	3	校	H29.3	4	3	指標値を達成し事業効果があった	国の整備目標に準じてタブレットPC、実物投影機等のICT機器を導入した。授業で活用されており、児童への教育効果が高まった。	小学校機械器具: 658,584円 中学校修繕料: 768,960円 中学校機械器具: 280,584円 中学校庁用備品: 15,422,400円	旭小学校:液晶テレビ4台、実物投影機7台 美幌中学校:PC41台、タブレットPC10台、無線LAN、大型テレビ2台 北中学校:タブレットPC11台、無線LAN			事業の継続
			H28年度	17,131,000	指標②													
			H29年度	17,995,000	指標③	国の整備指針に基づくCT機器必要数	3	校	H30.3									
10	少人数学級推進事業	きめ細かな学習指導環境を整えることを目的に、各小学校の全学年で35人学級を実現すべく、期限付教諭を任用する。	H27年度	9,413,660	指標①	町費負担教員	3	人	H29.3	2	3	指標値を達成し事業効果があった	すべての小学校の全学年で35人学級の実現ができたことにより、一人一人の児童にきめ細かな指導を行うことができた。	社会保険料:1,687,696円 臨時職員賃金:10,983,600円 健康診断委託料:39,657円				事業の継続
			H28年度	12,710,953	指標②													
			H29年度	5,518,000	指標③	町費負担教員	1	人	H30.3									
11	学力向上支援事業	一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図ることを目的に、小学校教育支援員を配置し、習熟度別学習を実施する。	H27年度	0	指標①	教育支援員	2	人	H29.3	-	2	指標値を達成し事業効果があった	学習内容を確実に身に付けさせることができるよう、教育支援員を配置することにより、習熟度別少人数指導等のきめ細かな学習指導を行い、基礎・基本の定着が図られた。	社会保険料:36,784円 人夫賃等:3,287,953円 健康診断委託料:31,556円				事業の継続
			H28年度	3,356,293	指標②													
			H29年度	5,614,000	指標③	教育支援員	3	人	H30.3									
12	博物館との連携事業	博物館の学芸員と教諭との連携により、美幌町の自然体験や観察会、工作教室を実施し、地域への郷土心の養成と特色ある授業を実施する。	H27年度	0	指標①	連携事業実施校	5	校	H29.3	5	5	指標値を達成し事業効果があった	博物館との連携による体験学習により、地域資源を活用した学校教育の充実が図られた。	(報償費:24,000円) (消耗品費:106,360円) (原材料費:12,525円)	町内小中学校(美小・東陽小・旭小・美中・北中)全ての学校と連携をしながら体験授業をじっしてきた。			事業の継続
			H28年度	0	指標②													
			H29年度	0	指標③	連携事業実施校	5	校	H30.3									
13	学生ボランティア学習サポート事業	夏季・冬季の長期休暇中の小中学生に東京農業大学の学生が勉強を教え、児童・生徒の学力向上を図る。	H27年度	77,350	指標①	学習サポート事業参加人数	2,000	人	H29.3	3,032	2,936	指標値を達成し事業効果があった	学生ボランティアによる長期休暇中の学習サポートを行うことにより、学力向上と学習習慣の定着が図られた。	報償費:30,900円 食糧費:16,800円 保険料:10,100円				事業の継続
			H28年度	57,800	指標②													
			H29年度	447,000	指標③	学習サポート事業参加人数	2,000	人	H30.3									
14	国際交流事業	平成4年からニュージーランド・ケンブリッジ地区と友好姉妹都市の関係が継続され、両地域における人材派遣として「高校生短期交換留学」を実施。さらに隔年でケンブリッジ高校から短期留学の受け入れも行う。	H27年度	720,255	指標①	留学生(美幌高校)の人数	2	人	H29.3	2	2	指標値を達成し事業効果があった	美幌高校からケンブリッジ高校へ短期留学を予定である2名派遣することができた。ケンブリッジ高校への留学実施で、美幌と友好姉妹都市である地域との人的交流が継続でき、生徒自身においても将来を考える機会となり、事業効果はあると検証する。	国際交流事業消耗品費 3,886円 (留学レポート・エアメール用) 高校生短期交換留学事業負担金 370,000円 内訳) 渡航費用(高校生2名) 370,000円 ・授業料等() 0円 ※ケンブリッジ市の好意により授業料等は負担がなかった。	平成28年7月20日 出発～ 8月10日 帰町 留学先:友好姉妹都市ケンブリッジ(NZ)のケンブリッジ高校 留学生:美幌高校普通科2年の 女子生徒2名 留学内容:日本の高校とは授業形態や生徒の積極性の違いを体験。この経験が帰国してから生徒自身の積極性を意識する切掛けとなった。また、食文化の違いなど生活環境の違いも肌で感じ、改めて日本の良さや異文化の魅力を感じた。今後英語の勉強に一層意欲。帰国レポートを提出済。			事業の継続
			H28年度	373,886	指標②													
			H29年度	1,047,000	指標③	留学生(美幌高校)の人数	2	人	H30.3									
15	防災対策事業	美幌町の地域に関わる防災に関し、災害予防を実施するにあたり、防災資機材を計画的に整備する。また、町民の防災意識の向上を図ることを目的に、地域と連携した避難行動訓練や図上訓練を実施、家庭用備蓄の普及啓発など、防災体制の強化を図る	H27年度	7,049,000	指標①	防災訓練参加者数	100	人	H29.3	114	135	指標値を達成し事業効果があった	防災訓練については、昨年より引き続き水害を想定とした避難行動訓練を開催した。(美幌地区、参加者92名)また、新たな試みとして、図上訓練(参加者28名)や児童を対象とした防災キャンプ(参加者15名)を開催し、防災意識の向上が図られた。防災資機材については備蓄計画に基づき計画的に整備し、個別配布用の非常用持出品を継続的に配布するなどの取組みにより、より一層の防災体制の強化が図られた。	防災無線保守点検 421千円 防災情報配信システム保守等業務委託 637千円 ハザードマップ作成委託料 302千円 避難所等AED借上料 340千円 個別配布用非常用持出品 4,990千円 防災資機材保管倉庫設置委託料 338千円 備品購入費(防災資機材等) 3,815千円				事業の継続
			H28年度	13,621,000	指標②													
			H29年度	15,343,000	指標③	防災訓練参加者数	100	人	H30.3									
16	自主防災活動推進事業	各自主防災組織において、災害時に備えた設備を整え、町民と関係機関が連携した自主防災訓練及び地域避難訓練を実施し、日頃の防災意識の向上と防災体制の強化を図る。また、未設立団体への積極的な働きかけを行い設立、促進を図る。	H27年度	※	指標①	自主防災組織の結成率	73.75	%	H32.3	66.70%	66.70%	指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	自治会連合会による訓練などをとおして、未設立自治会への働きかけなど、積極的な取組みは行ったものの、新規設立までには至らなかったが、新たに自主防災資機材等収納倉庫の設置(1件)を行い、地域の防災体制の強化を図ることができた。	自主防災資機材等購入補助金 250千円 (資機材等収納用倉庫)				事業の継続
			H28年度	250,000	指標②													
			H29年度	850,000	指標③	自主防災組織の結成率	73.75	%	H32.3									